

ShinMaywa

TRD510

両端端子打機

電線1本当たりの加工費低減に貢献



デジタルリンパ

**NEW
MODEL**

最大5,000本/時の業界最高クラスの加工能力実現
省スペース化により、生産性を向上

■ 特長

加工能力向上

- 高速高精度で実績のあるTR500のプラットフォームを採用。
- 最大加工能力:5,000本/時の高速加工を実現。

【最大加工能力】

11%向上 ※従来機「TRD301」比

TRD510



加工精度向上

- 測長ユニットに、ベルトフィード機構を採用。
電線へのダメージを軽減し、細線加工にも対応。
- フィードバック補正制御により切断長計測精度が向上。
- カッタユニットに、最新サーボモーターを搭載。
高い制御機能により、高精度切断を実現。

操作・作業性向上

- デジタルクリンパを標準装備。
数値制御により圧着条件出し作業を簡略化。
- 操作手順に合わせたシンプルな画面構成。
- ツールレスで交換可能なワンタッチノズルを採用。
- ポビンフィーダ(オプション)設置で電線モツレの発生を抑制。

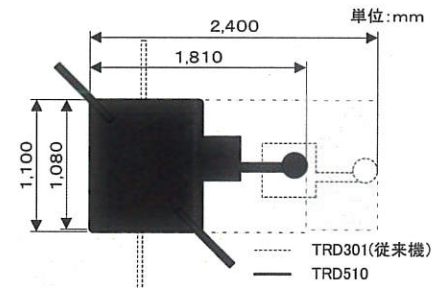
省スペース化

- ベルトフィード機構を採用し、省スペース化を実現。
- 設置占有面積:2.6m²→2.0m²へ縮小。
- 単位面積当たり加工本数:1,730本→2,500本へ増加。

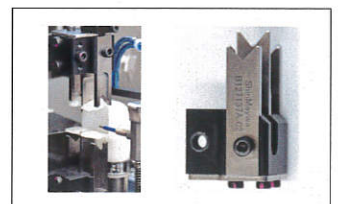
【設置占有面積】
23%縮小

【1m²当たり加工本数】
44%増加

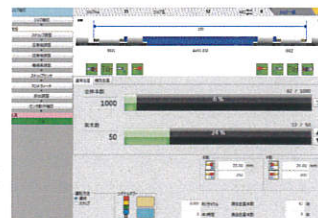
※従来機「TRD301」比



ベルトフィード機構



カッタユニット



操作画面



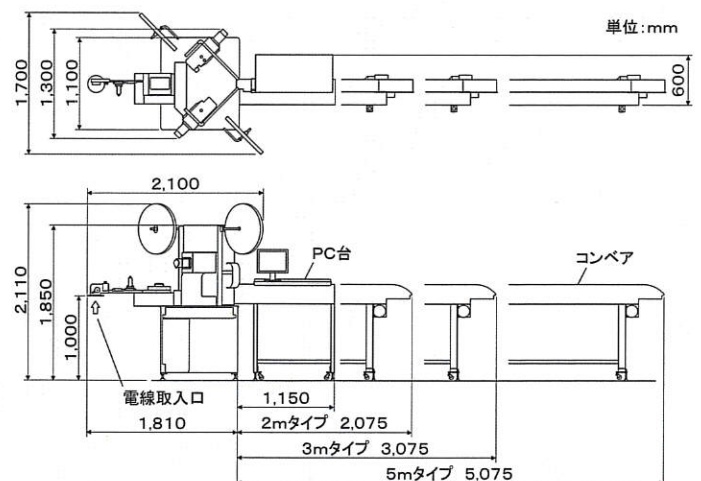
ポビンフィーダ

■ 標準仕様

形式	TRD510
最大加工能力 (両端端子圧着時)	5,000本/時(切断長:100mm) 4,200本/時(切断長:500mm) 3,750本/時(切断長:1,000mm)
加工電線	0.13~1.25mm ² /AWG26~18 (最大外径φ3.0mm) ※1
切断長/ストリップ長	50~20,000mm/1~16mm
電線送り	ベルトフィード機構 実用標準速度:6m/s、 最大10m/sまで可能
圧着機	デジタルクリンパ 19.6kN
標準装備	ストリップセンサ、端子有無センサ、ジョイントセンサ、電線 過負荷センサ、電線滑り検知、操作用パソコン、安全カバ 端子圧着判定装置(TCM)、パットワイヤチョッパー
駆動モーター	全軸ACサーボモーター
必要エア/消費電力	0.5 MPa 150 ℓ/min (ANR) /最大 約0.4 kWh
電源	三相 AC200V ±10%以内(50/60Hz)
機械寸法	幅1,100×高さ1,850×奥行1,810 (mm) 幅1,700×高さ2,110×奥行2,100 (mm)※ ※ φ650mmの端子リールを含む
本体質量	約690kg

※1 屈曲性の良い(軟らかい)電線は加工できない場合があります。

■ 外形寸法図



※コンベアはオプションです。

- 本カタログの仕様、寸法および外観は予告なく変更することがあります。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。